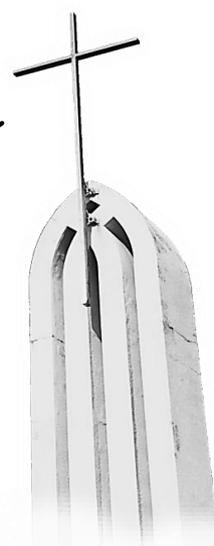


# 祈りにつながる主日礼拝

～一人または少人数で守る主日礼拝のために～

主日礼拝を教会で捧げられないことに悲しみや不安を覚えることは当然です。しかし、本当に悲しまなくてはならないことは、教会に集えないことを理由に主日に礼拝を捧げないことです。

主日に教会に集い、礼拝を捧げることは、キリスト者にとって最も重要な務めです。ゆえに、様々な事情で教会に集えない場合でも、霊的生活において主日礼拝を守ることが大切なのです。各々が置かれた場から、祈りのうちに教会で捧げられている礼拝に連なるならば、キリストの体である教会の交わりに共に与る祝福が必ず与えられます。教会に集えないときにこそ、礼拝の意味を改めて見つめましょう。



この式次第は、一人あるいは家族・友人など少人数で捧げる礼拝の式順です。

『祈りにつながる主日礼拝』を共に捧げ、

聖霊によって、礼拝の恵みを新たに受け取りましょう。

2020年3月3日  
日本キリスト教団 頌栄教会



- 可能な限り、主日礼拝が始まる 10:30/19:00 におささげください。
- 行う場所がどこであっても、  
聖別された時と場であることを心に留めてください。
- 教会で捧げられている礼拝と連帯するためにも、  
可能ならば、の中を声に出して行いましょう。  
一人で行う場合は、の中のすべてを一人で唱えましょう。
- 讃美歌は、状況に応じて省略することもできます。  
体調が許されるならば、声に出して賛美することをお勧めします。  
歌詞に目を通すだけでも、豊かな祈りとなるでしょう。

## 【用意するもの】

聖書・讃美歌・今月の予定表(礼拝予定)・この式次第のプリント



## 神の招き

**共に集う** 心と体を礼拝に備え、祈りの中で共に集っていることを意識します。

**招 詞** 神の御前にいることを意識し、招きの詞(ことば)を聴きましょう。

司式者 全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。  
喜び祝い、主に仕え 喜び歌って御前に進み出よ。  
知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。  
わたしたちは主のもの、その民 主に養われる羊の群れ。  
<詩編 100:1-3>

**招きへの応答** キリストの御名によって、  
神はわたしたちを迎え入れてくださいます。  
神の民として、神に賛美しましょう。

♪ 讚美歌 (当日の最初の讚美歌)

**罪の告白** 神の御前で、自らの思い・言葉・行い・怠りを振り返りましょう。

司式者 全能の神に罪を告白しましょう。  
<詩編 51:3-11>  
司式者 神よ、わたしを憐れんでください  
会 衆 御慈しみをもって。  
司式者 深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください。  
会 衆 わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。  
司式者 あなたに背いたことをわたしは知っています。  
会 衆 わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。  
司式者 あなたに、あなたのみになわたしは罪を犯し  
会 衆 御目に悪事と見られることをしました。  
司式者 あなたの言われることは正しく  
会 衆 あなたの裁きに誤りはありません。

司式者 わたしは<sup>とが</sup>咎のうちに<sup>う</sup>産み<sup>お</sup>落とされ

会 衆 <sup>はは</sup>母がわたしを<sup>み</sup>身ごもったときも、  
わたしは<sup>つみ</sup>罪のうちにあったのです。

司式者 あなたは<sup>ひ</sup>秘儀<sup>ぎ</sup>ではなく<sup>のぞ</sup>まことを望み

会 衆 <sup>ひじゅつ</sup>秘術を<sup>はい</sup>排して<sup>ちえ</sup>知恵を<sup>さと</sup>悟らせてくださいます。

司式者 <sup>えだ</sup>ヒソプの<sup>つみ</sup>枝でわたしの<sup>はら</sup>罪を<sup>はら</sup>払ってください

会 衆 わたしが<sup>きよ</sup>清くなるように。

司式者 わたしを<sup>あら</sup>洗ってください

会 衆 <sup>ゆき</sup>雪よりも<sup>しろ</sup>白くなるように。

司式者 <sup>よろこ</sup>喜び<sup>いわ</sup>祝う<sup>こえ</sup>声を<sup>き</sup>聞かせてください

会 衆 あなたによって<sup>くだ</sup>砕かれたこの<sup>ほね</sup>骨が<sup>よろこ</sup>喜び<sup>おど</sup>躍るように。

司式者 わたしの<sup>つみ</sup>罪に<sup>みかお</sup>御顔を<sup>む</sup>向けず

会 衆 <sup>とが</sup>咎をことごとく<sup>ぬぐ</sup>ぬぐってください。

## 赦しの言葉

司式者 <sup>しゅ</sup>主の<sup>ゆる</sup>赦しの<sup>ことば</sup>言葉を<sup>き</sup>聞きましょう。

<コリントの信徒への手紙二 5:21>

<sup>つみ</sup>罪と<sup>なん</sup>何のか<sup>かた</sup>かわりもない方を、

<sup>かみ</sup>神はわたしたちのために<sup>つみ</sup>罪となさいました。

わたしたちはその方によって<sup>かた</sup>神の<sup>かみ</sup>義<sup>ぎ</sup>を得る<sup>え</sup>ことができたのです。

会 衆 アーメン

**頌 栄** 神の御業を思い巡らし、神の栄光をたたえましょう。

♪ 頌栄 545 番

「父の<sup>みかみ</sup>御神に <sup>みこ</sup>御子に <sup>きよ</sup>聖き<sup>みたま</sup>御霊に

昔ながらの <sup>さか</sup>み栄えあれや <sup>さか</sup>ときわに アーメン アーメン」

## 神の言葉

**祈 禱** 御言葉を聴くために、聖霊のはたらきを求めます。

司式者 しゅ かみ てんち つく ぬし せかい す おさ おう おう  
主なる神、天地の造り主、この世界を統べ治めておられる王の王。  
おお み な  
あなたの大きいなる御名をたたえます。  
あわ ふか ちち  
憐れみ深いわたしたちのまことの父、  
みまえ あつ かんしゃ  
わたしたちを御前に集めてくださったことを感謝いたします。  
みことば した もと  
わたしたちは心をつにしてあなたの御言葉を慕い求めます。  
せいしょ ひら みことば き とき せいれい て  
聖書を開き、御言葉を聴く時、聖霊がわたしたちの心を照らし、  
しんり みちび  
わたしたちを真理へと導いてくださいますように。  
いのち みことば  
どうぞ命の御言葉を、わたしたちにお与えください。  
みことば い  
わたしたちが御言葉によって生き、  
えいえん いのち みち あゆ つづ  
永遠の命の道を歩み続けることができますように。  
すく ぬし み な いの  
わたしたちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。  
アーメン。

**聖書朗読** 聖書は、「神の言葉」です。ゆっくり声に出して読みながら、心と体の耳で「神の言葉」を聴きましょう。

当日の聖書箇所（礼拝予定をご覧ください）

- ◇ 第一朗読〔旧約聖書〕
- ◇ 第二朗読〔使徒書〕
- ◇ 福音書

## 御言葉の照らし

- どの箇所から礼拝で執次ぎ(説教)がされているか、  
当日の説教題（礼拝予定をご覧ください）をもとに考えを巡らしましょう。
- 御言葉を通して神と交わるときをもってください。  
《響いた言葉、疑問に感じた箇所、主から呼びかけられていると感じたこと等》  
心身の健康に応じて、時間を決めて行うことが大切です。
- 可能ならば、後日配布される説教プリントに目を通しましょう。

**沈 黙** 御言葉による神との交わりに感謝し、沈黙をもって祈りましょう。

## 感謝の応答

### 使徒信条

使徒信条は、わたしたちの信仰告白の土台です。個人的な信仰告白であり、歴史を生きてきたすべての聖徒の告白に連なる公の信仰告白でもあります。代々の聖徒と共に、そして教会で礼拝を捧げる人々と共に、心を合わせて使徒信条を告白しましょう。

#### 使徒信条

われ てんち つくぬし ぜんのう ちち かみ しん  
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われ そのひとりご われ しゅ い え す きりすと しん  
我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
しゅ せいれい  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、  
くろ う  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
じゅうじか し ほうむ よみ  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、  
みっかめ しにん  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
てん のぼ ぜんのう ちち かみ みぎ ぎ  
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。  
き  
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。  
われ せいれい しん せい こうどう きょうかい せいと まじ つみ ゆる  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、  
からだ とこしえ いのち しん  
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

### 執り成しの祈り

執り成しの祈りとは、『他者のために捧げる』祈りのことです。神の民であるわたしたち自身と、すべての人々のために捧げられている公の礼拝であることを意識し、個人的な祈りではなく、以下の五つの課題について執り成しの祈りを捧げましょう。

- ①様々な事情で教会に集まることができない方々のために
- ②全世界の教会・キリスト者のために
- ③すべての人々のために
- ④苦難の中にいる人々のために（具体的に思いを巡らして）
- ⑤現在、わたしたちが直面している「日本」「地域社会」の課題のために

## 献げもの

主から受けたものの中で、わたしが献げられるもの・分かち合えるものは何か  
思いを巡らしましょう。

この一週間、それらを献げながら主と共に歩いていけるように、  
聖霊の助けを願いましょう。

## 主の祈り

- ①父なる神を仰ぎ、
- ②御子キリストがわたしたちに教えてくださった祈りを、
- ③聖霊によって神の子どもとされている恵みのうちに、  
すべての教会、すべての神の子どもたちと共に心を合わせて祈りましょう。

### 主の祈り

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ、  
ねが み な  
願わくは御名をあげさせたまえ。  
くに き  
み国を来たせたまえ。  
みところ てん ち  
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。  
われ にちよう かつ きよう あた  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。  
われ つみ おか われ ゆる われ つみ ゆる  
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。  
われ こころ あく すく いだ  
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。  
くに ちから さかえ かぎ なんじ  
国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。 アーメン。

## 派遣

**感謝の祈り** キリストによって集められ、  
神の民としていただいた恵みに感謝しましょう。

♪ 頌栄 541 番「父 御子 御霊の大御神に ときわに絶えせず み栄えあれ アーメン」

**祝 福** 心の中で、神からの祝福の言葉を聴きましょう。

へいわ  
平和のうちに、この世へと出て行きなさい。  
しゅ かみ つか りんじん あい しゅ かみ あい りんじん つか  
主なる神に仕え、隣人を愛し、主なる神を愛し、隣人に仕えなさい。  
しゅ めぐ かみ あい せいれい まじ  
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、  
あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

**派 遣** 神の民として、キリストと共にこの世に目を向け歩いていきましょう。